



NO.028

# FAS通信

平成17年 8月号

株式会社福地建築

上磯町中野通 321 番地

TEL0138-73-5558

## ユーザー様より届いたメッセージをご紹介します！

私は、愛媛県伊予市で、歯科を開業していますが、平成14年に道路拡張のため移転しなければならなくなりました。最初に考えたことは、まだ使える建物を取り壊して新しく建てるというのは、かなりの無駄をしているということで、移転するのなら、エコロジーの考え方を入れたいと思って、いろんな見学会に行ったら、情報を集めていました。そのとき大手のハウスメーカーの説明もエコロジーという言葉は至る所にあり、世の中の流れを感じたものです。

### 「ファースの家」との出会い

友人が「ファースの家」を紹介してくれて、早速 砥部町にあるファースのモデルルームを見に行きました。そのときに、木をふんだんに使った気が落ち着く家のデザインもそこそこに、屋根裏と床下と見せてもらって説明を受けたのが他にはなく、新鮮で印象的でした。それでも、夏はエアコン、冬は蓄熱暖房をつけばなしで、家の中全体の温度調整をするということに、エコロジーという観点からどうかと思いました。しかし、話を聞くうちに、部屋ごとの温度差や床下と部屋、屋根裏との温度差が結露の原因となり、家の耐久性に影響していることや、外気温と家の中の温度との差による結露を防ぐためには、かなり精密な断熱材の施工が必要なることも分かってきました。また、暑い状態から家の中を冷やしたり、寒い状態から暖めたり、急激に温度を変えるのにエネルギーがたくさん必要で、春や秋の、あまり暑くなく寒くない状態をずっと保つやりかたには、エネルギーがあまり要らないと言うことを聞いて、なるほどと思うとともに、実際にそうなのか住んで検証してみたくもなりました。

そういう目で、いろんな建築方法の家の構造見学会に行くと、部分的には宣伝通りでも全体ではかなりちぐはぐな、荒っぽい考え方の上で造られているという事に気づきました。地球温暖化が叫ばれていても、地球全体を見る目を持つのは大変なことだとも思います。でも規模を小さくした家造りでも、何もわからない私同様、部屋は部屋、床下は床下というような部分的な考え方で、家全体で温熱環境を考えるという視点はほとんどされていないということを意外に思うとともに、人任せでなく自分も知識を持つことが必要で、素人なりにわからないことはしつこく聞くことが大事だと実感しました。

### 妥協できない2つのこだわり

家造りにあたって、私の中には二つの隠れた問題がありました。一つは、移転が決まる1年前より、田舎で住んでいる父親が冬ごとにトイレに行く途中で倒れて、弱ってきて

いたのですが、部屋の温度差が大きいことが原因と思われるので、移転とともに両親と一緒に住んで、いい温度環境をつくりたいということでした。それは、エネルギーを大量に使うのなら簡単でしょうが、エコロジーの観点から、どうしたらいいか迷っていたのですが「ファースの家」だと両立させることができそうに思えました。

もう一つは、診療室に来られる患者さんが特に夏、エアコンの前のイスに座る方は寒くて、遠い方は暑い。また、動いているスタッフは暑いだけけれど、体を動かしていない患者さんは寒いというジレンマがあったのですが、これは仕方がないことだと思って、今まで問題にすることもできませんでした。しかし、ファースの説明の中で、そのことをふと話す、こともなげに「湿度を管理すると、少し高めの温度でもあまり暑さを感じないので、問題を改善できると思いますよ」というような答えが返ってきました。

湿度を調整する家というのは、今まで聞いたことがなかったので、びっくりしました。他の家のオーナーに聞いても、部分的な室温については完璧な断熱方法でなくても結構何とかなりそうな感触をもったのですが、湿度というのは少しの隙間でも厳しいと思うし、家の中は生活でできる水蒸気がいっぱいあるわけで、それを調整できる工法があるとは知りませんでした。温度感覚に湿度が大きく関与していることは知っていましたが、家造りにそれを活かすという感覚はありませんでした。それで、他の工法の説明を受けたり、見に行ったら、他の工法では家全体の湿度のことは考えてないというのがはっきりしてきて、ファースの考え方に先進性を感じました。

実際に建った家も見えたので、北海道や鳥取など、ファースのオーナーさんの家を見せてもらいに行ったのですが、どこの家にもいろんな場所にデジタルの温・湿度計が置いてあって、オーナーさんはどの人も、屋根裏・床下そして、温度・湿度のことを熱っぽく説明して頂けるのに感激しました。オーナーさんは家の中の状態をみんなチェックされているわけです。それで、私の家は、もうファース以外にはないと「うずくぼ工房」に建設をお願いしました。

### 住みごこちを実感中！

今は、住み始めて1年半が過ぎました。「ファースの家」を建設中の夏にも脱水症状で入院して、お医者さんから「覚悟してください」と言われた父も、それから2回の冬、1回の夏を何事もなく過ごせて、今2回目の夏になろうとしています。本当に、良かったなあと思っています。この時期だいたい室温26に家の中全体を保っていますが、最初は外に出たらひんやりしていたのが、だんだん暑くなってくると、室温は同じなのに外がム〜とするような感じで、室内がすごく冷えているような感覚になってきます。

愛媛の名水「観音水」が、夏は冷たく冬は暖かいというのを思い出しては、こんな感覚なんだらうなあと思う今日この頃です。温度環境的に賢い中で住まわせてもらっているという感謝とともに、使用したエネルギー料金を比較すると、過去、自宅にクーラーもつけずに「暑い、寒い」を我慢していた頃より、1年中家全体を一定温度で保っている現在の方がエネルギー料金が減っているのは、最初の説明通りだったと感心しています。



港南歯科 三好 良一